

〈解答〉

- ①
- | | | | | | |
|---|----|---|-------|---|-----|
| 1 | ひた | 2 | せいじゃく | 3 | したく |
| 4 | 偶然 | 5 | 怠 | 6 | 鍛 |
- ②
- | | | | | | |
|---|------|---|----|---|------------|
| 1 | 食べます | 2 | です | 3 | ありがとうございます |
|---|------|---|----|---|------------|
- ③
- | | | | | | | | |
|---|--------|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | いらっしゃる | 2 | おっしゃる | 3 | 召し上がり | 4 | ご覧になり |
| 5 | くださる | 6 | なさつ | | | | |
- ④
- | | | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|-----|---|------|
| 1 | まいり | 2 | 申し上げ | 3 | 拝見し | 4 | いただき |
| 5 | いたし | 6 | うかがつ | | | | |
- ⑤
- | | | | | | | | |
|---|--------|---|-------|---|--------|---|------|
| 1 | お借りになつ | 2 | ご報告する | 3 | いらつしゃい | 4 | いただき |
| 5 | ご覧になり | 6 | 申し | | | | |

配点 各1点 27点満点

〈解説〉

- ①
- 1 「浸」の音読みは「シン」で、浸水・浸食などの熟語がある。
 - 2 「静」の訓読みは「しず(か)・しず(まる)・しず(める)」で、「寂」の訓読みは「さび(しい)・さび(れる)」である。
 - 3 「支」の訓読みは「ささ(える)」で、「度」の訓読みは「たび」である。
 - 4 「然」の音読みには「ネン」もあり、天然などの熟語がある。
 - 5 「怠」の訓読みは「なま(ける)」もある。音読みは「タイ」で、怠慢・怠惰などの熟語がある。
 - 6 「鍛」の音読みは「タン」で、鍛錬などの熟語がある。

- 敬語 敬意を表す表現
- 1 尊敬語 動作（行為） 主に對する敬意を表す敬語
 - 2 謙讓語 動作の受け手に対する敬意を表す敬語
 - 3 丁寧語 話し手（書き手）が、話を聞く人（文を読む人）に対して丁寧な言葉遣いをし、敬意を表す敬語 ↓ …です…ます……でございます
 - 4 敬語の使用上の注意点
- ① 身内のものには尊敬語を使わない。
 - ② 尊敬語と謙讓語を間違わない。
 - ③ 敬語を使いすぎない。

表現の仕方（基本形）		尊敬語	謙讓語
① 特別な動詞を使う			
行く・来る		いらつしやる	参る・伺う
いる		おいでになる	おる
言う・話す		おっしゃる	申す・申し上げる
見る		ご覧になる	拝見する
聞く		――	伺う・承る
食べる・飲む		召し上がる・あがる	いただく
もらう		――	頂戴する
くれる		くださる	――
やる・与える		――	差し上げる
する		なさる・あそばす	いたす
② 接頭語表現			
読む		お（ご）～になる	お（ご）～する
着席する		お読みになる	お読みする
		ご着席になる	ご案内する
③ 助動詞を使う			
読む・来る		読まれる・来られる	――
		～れる・～られる	――